

# 4月から6小中学校を統廃合

可決 賛成 24 反対 1



統

合

廃

校

平成18年4月から、江田島小学校と秋月小学校を統合して秋月小学校を廃校、切串小学校と大須小学校を統合して大須小学校を廃校並びに能美中学校

と沖中学校を統合して沖中学校を廃校とする条例の一部改正案を、賛成多数で可決しました。

## 平成17年 12月定例会

平成17年第8回定例会は、12月12日に招集され、15日間の会期で開かれました。初日は、13人の議員が一般質問を行いました。翌13日は、人事案件、契約同意案、条例の一部改正案及び17年度補正予算案など16議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。続いて、平成16年度新市の12の会計の決算認定議案が一括上程され、本件は決算審査特別委員会を設置し、これに付託することに決定しました。この後、議員発議による意見書案4件を可決しました。21日には、平成16年度新市の12の会計決算を認定し、閉会しました。

### 教育委員の任命同意



#### 山口浄さんを再任

12月27日で任期満了となる山口浄教育委員会委員（江田島町切串）の再任同意案が提出され、賛成多数で同意しました。任期は4年です。

### 人権擁護委員候補者の推薦

#### 山本 幸さんを適任と答申



人権擁護委員候補者に、山本幸さん（大柿町柿浦）を推薦する諮問に対して、

市長に適任であると答申しました。職務は、市民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、適切な救済の処置を講じるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めるものです。任期は3年。

### 可決した主な議案

#### 大柿町大原の下水道 工事変更契約に同意



▲下水道管築造のためのボーリング調査（大柿町大原）

大柿町大原で進めている下水道の汚水管築造

工事において、管路計画上に旧埋立て護岸が出現し、推進工法の一部変更の必要が生じたため、

工事請負金額を1億4,070万円から1億6,557万7,650円に変更する契約を、平井ブロック株式会社（大柿町大原）と締結することに同意しました。工期は、平成18年2月28日までです。

### 質疑内容

Q・ボーリング調査をしているのになぜ。  
A・施工区域内を規定のポイントを定めて調査したが、発見できなかった。  
Q・工事費が高くなっているが、どんな工法に変更するのか。  
A・土砂対応の推進工法を、岩石を削りながら進む岩石対応の推進工法に変更します。  
Q・調査段階で、地元の話も聞いては。  
A・今後は、過去の資料を調べるなど事前調査を十分に行います。

### 大柿町八王寺地区の農道整備計画を変更

平成8年度から農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業として整備中の大柿町八王寺地区（大原・深江）の農道を、補助制度の改正等により一部区間（大原佐古地区）を、新規に元気な地域づくり交付金事業として整備するため、土地改良事業計画の変更を行った。事業完了は、平成23年度の予定です。

### 発議の4意見書 関係機関へ送付

国等に対する意見書として、議員提出議案が4件提出され、4件とも全会一致で可決し、各関係機関へ送付しました。  
◎定率減税の縮小・廃止に反対する意見書  
◎児童手当の拡充に関する意見書  
◎「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書  
◎議会制度改革の早期実現に関する意見書

### 反対討論

小人数校は、学習効率、子どもの情緒、教師の満足度などの面でよいとの研究成果があり、多くの小人数校の実践はそれを証明している。学校は、子どもの教育の場であると共に、地域づくりの核でもある。地域から学校をなくすことは地域の崩壊を進め、過疎化を進行させる。財政的理由や経済効率のために廃校するのは問題です。

### 質疑内容

Q・スクールバスの具体的な運行計画は。  
A・大須小は、スクールバスを購入し、朝1・夕3便を運行。エセキ地区にも停車する。  
秋月小は、バス会社に委託し、秋月トンネル経由で朝1・夕3便を運行。沖中は、路線バスを利用し、通学定期券を補助。増便の依頼もしている。  
Q・バス通学など児童・生徒の安全確保対策は。  
A・当面は教師が同乗する。学校・保護者・地域が連携し、万全を期す。  
Q・廃校後の利用方法は。  
A・公民館、集会所、メモリアルルーム、図書室等の地元要望が出ている。今後、地域振興の観点から、地元と十分協議を重ね、地域中心で利用方法を考えていく。

### 賛成討論

この問題は、地域のためというより、先ず子どものためにはどちらの選択がよいのかを考えることが大変重要です。例えば、小人数校では団体競技をするにしても、全児童一緒でないことができず、上級生が下級生に力を合わさざるを得ない。自分の力を発揮する場が制限され、可能性を試す機会が少なくなる。同学年レベルでの環境を作ることが大切だ。